

近年、自然公園内ではカシノナガキクイムシの影響によるナラ枯れ木や、風雨による倒木、落枝等、危険な木が多くなっています。東京都レンジャーは事故防止のため、日々支障木の処理や注意喚起の掲示等を行っています。



危険木による
事故を防ぐために

少しの気遣いで自然を傷めずに楽しむことができます。例えば、登山道から外れないことで道脇の野草が守られ、間近で花を楽しめます。同様に、他の利用者への少しの配慮で、誰もが気持ちよく楽しめます。そのために定められたのが「東京都自然公園利用ルール」です。多くの方に知ってもらえるように、お伝えしています。



ルールを知り、守ろう！

増えすぎたニホンジカに食べられて自然の草地や林が失われてしまわないように場所を選定して柵を設置しています。柵の中の植物がどのように回復していくのか、見続けていきます。



多様な環境を残したい

守りたい花がある

大岳山シカ柵に設置したパウチ

TOKYO PARK

RANGERS



あきらめたら…
そこでレンジャーは終わりだぜ

イラストの一部：AI作成

山岳事故件数が、全国2位になったこともある東京の山…。急峻な地形と多数の入り組んだ山の道が原因で滑落事故や遭難が頻発しています。

私たちは、危険個所に立ち入らないようロープやパウチを設置したり、古くなった道標を補修したりして、事故減少に取り組んでいます。



これ以上、迷わせ
ない！！

雨による浸食作用、林床植物の衰退、ヒトによる踏圧…。様々な影響により、荒れてしまった登山道が増えています。登山道を維持していくにはメンテナンスが必要です。自然にもヒトにも優しい登山道を目指し、荒廃が更に進まないよう整備しています。



ヒトと自然
が共生出来るよう

ヒトを守る。自然を守る。これが私たち東京都レンジャーの使命です。でこぼこ道での怪我、突然の倒木、道迷いなど、山のリスクから利用者を守りたい。そしてまた、消えゆく自然を守るため、シカ防護柵の設置や山での利用ルールを普及啓発しています。昨年10月に東京都レンジャーは発足20周年を迎えました。今までの経験を活かし、よりパワーアップした活動を行っていきます。